

第07号 | 2013年7月31日発行

## 生活支援学専攻介護福祉士コースの実習Ⅲ・Ⅳが終わりました！

介護福祉士コース教員 本名 靖

生活支援学専攻介護福祉士コースでは、3年生の介護福祉実習Ⅲ（18日間）と4年生の介護福祉士実習Ⅳ（12日間）が終了しました。

3年生27名は障害者支援施設（旧身体障害者療護施設）と重度心身障害児施設で実習しました。



かしの木ケアセンター

左の写真が3年生の実習施設、「かしの木ケアセンター」です。この他、埼玉県、東京都、神奈川県等の施設12カ所で実習を行いました。

実習に行くためには、学内でさまざまな学びが必要になります。まず、実習生が高齢者や障害者を介護するための技術を学ぶ必要があります。介護しなければならない場面は日常生活の全般に及びます。

例えば食事介助では、利用者の身体状況に合わせた食器の知識、食事の姿勢、食事の工夫（キザミ食・ソフト食）、介助の技術等学ぶことはさまざまです。食事を介護することは、すぐに食べさせてしまうような介助とは違います。自分自身で食べられるような環境の設定をまず考えます。姿勢、道具の工夫、食材の調理方法、嚥下の誘発、噛む力の保持等です。これらを丹念に実施し、それでも自分で食べることができない時に介助します。



このように、利用者の持っている力を最大限に引き出す状況を作り出すことが、介護の大きな役割です。もちろん、身体機能だけではなく、意欲も発揮してもらえるようにならなければなりません。そのためには、利用者が大切にしていることを推察し、それを実現していくことも必要になります。介護する利用者の全体を把握することが大切です。



介護福祉士コースの実習は1年次から4年次まで準備されています。高齢者・障害者施設、訪問事業所、グループホーム、小規模多機能施設等種類もさまざまです。4年間の学びがあるから、実習を積み上げていくことができます。実習を通して自分の課題を見つけ、修正していくことができます。4年制大学で介護福祉を学ぶだけではなく、社会福祉の資格も取得する学生がとて多いです。（昨年度の介護福祉士コース学生合格率54.2%）。その意味では日本の社会福祉のリーダーとして活躍する学生が何人も排出されるのではないのかと期待しています。是非、受験生の皆さん良き先輩と一緒に学びましょう。

東洋大学 ライフデザイン学部 生活支援学科  
生活支援学専攻 ニュースレター

Human Care and Support Course  
Department of Human Care and Support  
Faculty of Human Life Design  
Toyo University

